

# 絆

K I Z U N A

2022 NOVEMBER

JAグループ青森 月刊広報誌 [911号]

11





人の数だけ「よい食」があるんだね。



新鮮でおいしいから、  
地元の野菜、  
食べてます。



市民農園で、農業体験。  
育てる楽しみを知りました！



ダイエット中でも、  
三食ちゃんと  
食べてるよ。



自分でつくった  
お弁当を食べて、  
栄養バランスばっちり！



何は無くとも  
やっぱりごはん。  
日本人だからね。

一年生のときから  
給食のこさず、  
食べてるよ。



田舎のおばあちゃんが  
送ってくれる野菜、  
とってもおいしいよ！



「よい食」  
たいへん  
できました



旬の食材を  
食べて健康！



近所のJAが開く  
料理教室に  
通っています。

日曜日は、  
子どもといっしょに  
料理をする日。



家族で食卓を  
かこめば、会話がはずむし  
ごはんもおいしい！



環境のことも考えて、  
国産を選んでいきます。



休日は家族みんなで、  
ファーマーズマーケットで  
買い物。



ごはんの時は、  
「いただきます」と  
言ってから食べるよ！

よい食とは、おいしい食のこと。よい食とは、楽しい食であること。  
よい食とは、家族の健康を支えるもの。よい食とは、よい暮らしそのもの。

あなたも、自分に「よい食」、家族に「よい食」、  
そして日本の未来に「よい食」をしませんか？

みんなのよい食プロジェクトとは、

体と心を支える食の大切さ、国産・地元産農畜産物の豊かさ、  
それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産農畜産物と  
日本農業のファンになっていただくという運動です。



美味ちゃん  
©みんなのよい食プロジェクト

「日本を、もっと食べよう。」みんなのよい食プロジェクト

大地がくれる絆を、もっと。JAグループ

よい食

検索



みんなのよい食プロジェクト



## 農協観光（Nツアー）と日本航空（JAL）の業務提携 による第一次産業と地域の活性化について

2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、世界全体に感染拡大し、感染者数は全世界で6億人を超え、今もなお感染は終息していません。

世界経済は、2020年は大きく減少しましたが、2021年は大幅に回復しました。しかしながら、世界全体の国際旅客数は、渡航制限等による旅行需要の大幅な減少が続きました。

日本の観光の動向も、2020年から訪日旅行、日本人の海外旅行ともに需要がほぼ消失し、度重なる行動制限に伴い国内旅行も大幅に減少するなど、観光産業全体に甚大な影響を与えています。

現在、世界各地で社会経済活動の正常化に向けた取り組みが進んでおり、旅行需要は回復に転じ、旅行市場の回復に期待が高まっておりますが、本格的な回復の道筋は見えていません。

このようななか、観光の経済効果によって、地域の環境と文化の継承を図る「持続可能な観光」が世界的な流れとなっておりますが、ポストコロナ期においても、人口減少を迎える日本において、観光を通じた内外との交流人口の拡大を通じて、地域を活性化することがこれまで以上に重要であることから、人流や商流・物流の新たな流動の創出を通じた地域活性化に取り組む日本航空（JAL）と、JAグループと連携して農山漁村地域への多様な交流機会の創出を目指す農協観光（Nツアー）が、互いのバリューチェーンを補完し合うことで農山漁村地域における第一次産業と地域の活性化をもたらすことを目的として、業務提携を行うことに合意しました。

JALが持つブランド力、国内・海外に広がる航空輸送ネットワーク、JALマイレージ会員など国内外約3,000万人の顧客網と、JAグループの一員であるNツアーの地域での強みなどを活かし、農泊や労働力支援事業の成長を目指します。

今後、両社で企業の福利厚生や学校の教育旅行向けの農泊企画など団体旅行商品、個人の外国人旅行者向けの農泊パッケージ商品などの検討を進めるとともに、農作業体験や援農をパッケージ化した商品の開発など労働力支援事業でも連携しながら、農山漁村への外国人旅行者等の呼び込みを目指し、JALの海外拠点からも情報を発信します。

また、JALは地域活性化事業の一環として、地域の農産物を電子商取引（EC）サイトで国内外向けに販売し、Nツアーと連携して地域の製品の取り扱いを増やすとともに、JALが運営するふるさと納税サイト向けにも、自治体に農産物を提案していきます。

NツアーとJALは、両社の強みを活かしながら、「第一次産業の活性化」「地域の活性化」に向けて、様々な共創に取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

株式会社農協観光

### 絆 11 目次 CONTENTS

巻頭言	1	経営の窓口	14
フラッシュ	2	組織農政通信	16
インフォメーション	4	JAL津軽みらいNEWS	17
東北農政局通信あおもり	11	輝き・すすめ！SDGs・催事カレンダー	18
実践農業者支援	12	誉（ほまれ）	19

# 伝えたい人に、 伝える、伝わる。



JAグループの広報・PRは日本農業新聞の広告で。

## 広告媒体

### 日本農業新聞



全国のJAなどが出資し、農業の専門紙では唯一の日報として全国31万部発行※しています。農家組合員とJAグループ、地域をつなぐ全国メディアです。



※日本ABC協会認定  
2020年1~6月平均販売部数

### 日本農業新聞Web



農業関係のWebメディアの世界でも有数のページビューがあり、(2020年度月間平均PV数100万)、農業関係者だけでなく、幅広いユーザーに閲覧されています。記事を配信しているYahoo!ニュースからも、多くのユーザーが流入しています。

### フレマルシェ



JAのファーマーズマーケットを中心に全国で25万部を配布するフリーマガジンです。食や農業に関する多様なコンテンツを掲載。食に関心の高い30~60代の女性などの消費者がメイン読者です。

お問い合わせは、日本農業新聞広告部

【Eメール】 [koukoku@agrinfo.co.jp](mailto:koukoku@agrinfo.co.jp) 【TEL】 03-6281-5810



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

## 日本農業新聞

## 未来を描く ハッピー・マイライフ運動

お金は

夢

のおともだち



12月号  
第2  
別冊付録



12月号  
第1  
別冊付録



1月号  
第2  
別冊付録

12月号・1月号  
購読申込受付中

お申し込みはお近くの  
JA本・支店(所)へ



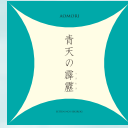
定価(税込)

- 普通月号 629円
- 付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
- 家計簿付き12月号 1,027円

JAグループ家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>



つがるロマン  
TSUGARU ROMAN



青天の霹靂  
SEITEN NO HEKIREKI



まっしぐら  
MASSHIGURA

青森から3つの「美味しい!!」

青森米本部  
aomori-komehonbu.gr.jp



©やなせたかし



全国旅行支援 12月20日宿泊まで

ひとり一人の感染防止対策で、安全・安心な旅を♪

出張に！ 家族旅行に！ お友達と！ 秋の旅を楽しみませんか。  
農協観光では全国の宿泊・交通付（JR・航空等）宿泊パックを取扱いしております。  
是非、下記までお問い合わせください。  
（メールでお問い合わせの方は右記QRコードからお問い合わせください）



割引金額（1人1泊あたり）  
最大 **40%割引!**  
宿泊のみ（上限5,000円割引）  
交通付パック旅行（上限8,000円割引）

さらに!! お一人様

平日 **3,000円分**  
休日 **1,000円分**  
クーポンプレゼント!

岩手・宮城・山形等の一部県におきましては、既に予算額が終了しております。多数のお申込み有難うございました。

※キャンペーン適用には、「ワクチン3回接種証明」または「PCR検査等の陰性証明」の提示が条件となります。

お申込み・お問い合わせは



観光庁長官登録旅行業第939号  
ふれあいコーディネーター・エヌ・ツアー。  
株式会社農協観光 青森エリアセンター  
☎ **017-729-8800** FAX 729-8803  
〒030-0847 青森市東大野2-1-15 青森県農協会館1F  
総合旅行業務取扱管理者 鈴木 光輝  
営業時間：平日9:00～17:30（土日・祝日休み）  
当面の間、毎週水曜日もお休みとさせていただきます

株式会社農協観光代理業  
青森県知事登録旅行業者代理業第26号  
JA ゆうき青森旅行センター  
☎0175-72-1433



# 作品介绍

●令和3年度「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール（図画部門）



■青森県農協中央会会長賞  
「給食は感染症対策をしっかりと」  
三沢市立第一中学校  
2年 鳴海 星



■優秀賞（図画部門第三部）  
「美味しいお米を食べるために」  
南部町立福地中学校  
2年 小林 愛奈